

第162回法律問題研究部会	
開催	平成29年2月25日（土）午後1時～午後4時 PCSA会議室において
出席人数	担当理事1名、部員12名、賛助部員1名、正会員企業オブザーバー3名、合計17名
出席者リスト	担当理事
	森 治彦 株式会社ダイナム
	リーダー
	荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社
	サブリーダー
	八重樫 浩輝 株式会社合田観光商事
	正部員
	生島 靖也 株式会社ダイナム
	影山 健二 株式会社ニラク
	住谷 一真 夢コーポレーション株式会社
	斎藤 明 夢コーポレーション株式会社
	吉田 一雄 株式会社TRY&TRUST
	渡部 正格 有限会社エー・アール・ケー
	若林 昇 株式会社キョウサン
	武内 好努 株式会社パンドラ（アメニティーズ）
	志方 崇 株式会社チアエンタープライズ
	西里 実 株式会社三永
	賛助部員
	國澤 良平 株式会社大商
	正会員オブザーバー
	辻 良樹 株式会社ダイナムジャパンホールディングス
	矢部 一彦 株式会社ニラク
	和田 隆広 株式会社合田観光商事
討議事項	1) 依存問題について
	業界が取るべき指針について6団体会議の報告がされた。リカバリーサポート・ネットワーク(以降RSN)と大商協の電話相談アシスタント増員、各ホールにパチンコアドバイザーを設置しRSNや全国の依存対策施設への紹介につとめる事。また自己申告プログラムでは金額制限だけでなく回数や時間をチェック項目に追加する事。また今後遊技機は性能、詳細情報が表示されるようになる事などが説明された。更に行政からは未成年遊技禁止の徹底、貯玉制限対応、依存に関するセミナー無料相談会の開催、安心パチンコアドバイザー育成セミナー開催などが要請された。その他にも業界外第三者機関設置、依存問題対策マニュアル作成などについても報告された。また、3月以降の警察による店舗検査の際には依存問題対策も確認されると説明された。。
	IR推進法案成立の余波により、カジノ、ギャンブル、パチンコをひとまとめにした依存対策法案が成立する可能性とその影響についても説明された。また、2月20日開催された第59回PCSA公開経営勉強会の内容についても言及した。
	2) 記事 静岡県榛原郡吉田町のパチンコ店「スリーエー」に令状を持った警察がガサ入れ 掲題の記事内容について、現状事実と確認出来る情報を共有した。
	3) 記事 「スロットとカラダで稼ごうや！」 大阪のパチンコ店長、「サクラ」募った疑いで店側お詫び文 記事に記載されたSNSに注目。各社の就業時間中のスマートホン、SNS関連の就業規則について情報を共有した。

討議事項	4) 役比モニタの比率表示点減における報告について
	<p>回胴式遊技機5.9号機全機種、かつ5.5号機の一部機種において役比モニタが搭載されるとの説明があった。役比モニタには連続約物比率、通常の約物比率の値が表示されるが、正常な遊技機が異常を発生させる確立は1万分の1と言われていると説明があった</p>
	5) 新基準に該当しない遊技機 設置アンケート
	<p>掲題の回胴式遊技機の設置比率についてのアンケート結果について情報を交換した。</p> <p>また、法律問題研究会が独自に開始した「新基準に該当しない遊技機」で、かつ「特に高い射幸性を有する遊技機」の設置比率アンケートについて情報のまとめ方などについて意見を交換した。</p> <p>法律問題研究会独自アンケートは、昨年12月から今年12月まで継続実施する。</p>
	6) 一般社団法人遊技産業健全化推進機構 実務者連絡会 報告
	<p>2月7日に開催された掲題の会議において、平成29年度の事業計画（予算）、平成29年度の経費負担について報告された。また、一般入賞口への入賞に関する調査結果の行政への通報が開始される件と機構は依存問題への対応はしないと明言した件が報告された。</p>
	7) 遊技機での上映等の管理開始 (JASRAC)
	<p>パチンコ店などにおける遊技機を用いた上映、演奏について2017年1月から管理を開始、1曲80円でメーカーが支払いをすると説明がされた。</p>
	8) 法律問題研究会 質問コーナー
	<p>下記の質問に対して回答した。</p> <p>Q: 割り切れないメダル単価での賞品交換時に注意する点について</p>
	次回開催
	平成29年3月25日 (土)
	午後1時～4時
	PCSA会議室にて